

区政 Now ! (27年5月号)

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

区政



荒川区の総人口が、平成27年4月14日に21万人を突破いたしました。区ではこれまで、区民の皆さまの幸福実感向上を目指して、子育て、教育、安全・安心、福祉など、様々な側面から先進的な取組を行ってまいりましたが、このような取組の積み重ねが住みやすいまちとの評価につながり、総人口21万人という結果として現れたのではないかと考えております。

本年4月から、木造住宅密集地域改善のための新事業をはじめ、幼稚園における第3子以降の保育料の無償化の拡大など、新たな取組を開始しております。今後とも、子どもから高齢者まで笑顔あふれる、活力ある地域社会を築いていくため、行政サービスの一層のレベルアップに努めてまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。

● ケネディ駐日米国大使が第一日暮里小学校に視察に訪れました

◇ 4月14日、キャロライン・ケネディ駐日米国大使が、日本の英語教育の現状を把握するため、英語教育に力を入れている第一日暮里小学校を視察されました。



子ども達とお話をされるケネディ大使

◇ 区では、英語教育の目標に「英語学習をとおして、身近な英語を聞いて理解し、自己表現できる基礎的な話す力を養い、積極的なコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるとともに、言葉や文化に対する



お別れのご挨拶の様子

興味・関心を深める」と掲げ、平成16年度から区内の全ての小学校で、第1学年から第6学年まで週1回の英語の授業を実施しています。

◇ 当日は、ケネディ大使も授業に参加され、子ども達へ絵本の読み聞かせを行っていただきました。子ども達は真剣な表情で聞き入り、読み終わると「Thank you」と、笑顔で拍手を贈っていました。授業の最後には、大使から本2冊がプレゼントされ、子ども達もお礼に花束を贈呈しました。

主な事業

● 荒川区の人口が21万人に達しました

◇ 区の総人口は、昭和35年の国勢調査による28万5千人をピークに、平成7年には17万6千人にまで減少しましたが、その後、増加傾向に転じ、平成27年4月14日に総人口が21万18人となりました。

◇ 少子高齢化・人口減少への対応が重要課題として取り上げられる中、荒川区の人口が増加しているのは、「幸福実感都市 あらかわ」の実現に向け、様々な分野で取組を進めてきたことにより、荒川区が住みやすいまちと評価されているからではないかと考えております。

◇ 今後とも、区民の皆様の生活の根幹を支える基幹自治体として、誰もが幸せを実感できる地域社会を築いてまいります。

● 木造住宅密集地域の改善に向け、4月から新たな取組がスタートしました

◇ 区では、木造住宅密集地域を改善するため、区内の約3割にあたる地区において不燃化特区の指定を受け、平成32年度までに不燃領域率を70%とする目標に向け取組を進めております。

◇ 4月からは、新たに、危険老朽建築物の除却費助成等を行う「危険老朽空き家ゼロ作戦」、防火及び耐震性能を向上させる工事費用の一部補助を行う「安全安心不燃耐震化事業」、老朽住宅を除却し耐火性能の高い民間賃貸住宅に転居する方に助成を行う「民間賃貸住宅への住み替え助成」等の取組を開始しました。

◇ 首都直下地震等から区民の皆様の尊い生命と大切な財産を守っていくため、今後とも、「災害で一人の犠牲者も出さない」という信念のもと、安全・安心なまちづくりの実現に全力で取り組んでまいります。



不燃化特区 区域図

● 第3子以降の幼稚園保育料（利用者負担額）無償化の対象を拡大しました

◇ 区では、これまで、子育て世帯の経済的負担の軽減の取組を推進してまいりました。従来、幼稚園における第3子以降無償化の対象については、同一世帯に複数の子どもがいる場合の範囲を、3歳（年少）から小学校3年生までとしていましたが、4月から、新たに3歳（年少）から18歳未満までに対象を拡大いたしました。なお、第2子については、従来どおり3歳から小学校3年生までに兄弟がいる場合に半額となります。

◇ これにより、保護者の皆さまの経済的負担が軽減され、子育て家庭への支援につながるものと考えております。また、公立幼稚園だけでなく、私立幼稚園等も対象とすることで、入園する幼稚園の選択の幅が広がるものと考えております。

◇ 今後とも、これまで以上に子育て世代が安心して子どもを産み育てられるまちを実現するため、子育て環境の更なる整備を進めてまいります。

● あらかわ遊園で雪8トンを使ったイベントを開催しました

◇ 4月19日、あらかわ遊園に岩手県北上市及び西和賀町から、冬の間保管していた雪8トンを搬入し、雪を使ったイベントを東京荒川西ライオンズクラブの後援により開催いたしました。

◇ 当日は、搬入した雪で滑り台や遊び場を整備し、日頃、なかなか雪に触れることのできないお子様をはじめとした多くの方々に、季節外れの雪を楽しんでもらうことができました。



雪で遊ぶ子どもたち

◇ このイベントは、2月の特別区長会総会において、北上市及び西和賀町から雪を活用したイベントの開催について提案があったことから、区として、被災地復興支援の一環として実施したものです。今後とも、様々な機会をとらえて被災地の復興支援に取り組んでまいります。